

江戸—昭和のひな飾りも



絵手紙作品が並ぶ会場＝四日市市采女町のうつつべ町かど博物館で

「桃の節句」絵手紙並ぶ

四日市のうつつべ
まちかど博物館

教室生らの500点

【四日市】絵手紙作品ひな人形を展示した「春のひなまつり展」が十日、四日市市采女町のうつつべ町かど博物館で始まった。三月十五日までの土曜、日曜の午前九時から正午。

絵手紙講師、岡昭子さんと市内五教室の生徒八十人が約五百点出品。江戸から昭和にかけてのひなや和紙の立ちびな、飾り三そろいを並べてる。

「桃の節句」をテーマに、愛らしいひな飾りに「うれしいひな祭り」歌詞を添えた絵手紙や、とのヒツシのひな人形など、遊び心あふれる作品会場を華やかに彩っている。彩色した素焼きのひな人形やえと飾り、貝殻なども並ぶ。

岡さんは「皆で楽しんで描きました。春本番待つ明るい気持ちになっていただければ」と話していた。問い合わせは内部地団体事務局へ電話05(347)1224へ

(岸本礼子)